

**三重県私費海外留学生体験記**  
**水谷 菜津希さん（アメリカ・カンザス州）**  
**ヘストン大学 ビジネス専攻**

**2016年10月更新**

**・専攻していた科目の学習内容、成績について**

私は留学先の大学でビジネスを専攻していました。2年制の大学に通っていたので卒業に必要な一般教養のクラスをとりながらビジネスのクラスも受けていました。3、4年生になるとほとんどが自分の専攻のクラスを受けるようです。私はまだ1、2年生を終えただけなので履修したクラスの多くはビジネスを広い範囲で基礎から学ぶクラスでした。マクロ経済、ミクロ経済から始まり、マネジメントやフィナンシャル会計やマネジメント会計といったクラスを履修しました。私はこういったビジネスのクラスのほとんどをアドバイザーでもあった David Levan という先生から受けていました。その先生はグループワークを重視する先生で授業の中でチームの子たちと意見交換をしたり、課題をチームとしてすることが非常に多くありました。大事なのは暗記をすることではなく、理解してそれを実社会で応用していく、そして自分の意見を持つということだと Dave はいつも言っていました。日本では模範解答のような答えを求められることが多く暗記が主な勉強法となっていた私には自分の意見を持つという一見簡単なことが非常に難しかったことを覚えています。また、成績に関してですが、アメリカは就職や編入の際に成績が非常に重要となるのでアメリカの大学生の成績に対する意識は非常に高いです。そんな中、私も周りの方々の支えのおかげで全学期 GPA4.0(日本でいうオール5)をとることができました。また、優秀な Business 専攻の生徒に贈られる Business award を受賞することができ、表彰されたときはアメリカで自分の努力が認められた気がしてとても嬉しかったです。

**・卒業後の進路について(進路、インターンシップ、日本または海外での就職活動等)**

今は日本でアルバイトをしながら次の留学に向けて準備しています。Year off 期間中はボランティアや自分の興味のある分野の会社にインターンシップに行きたいと思っています。

来年の夏よりアメリカの四年制大学へ編入し Finance もしくは Accounting を学ぶ予定です。そして U.S.CPA(米国公認会計士)の資格を取得し将来の仕事に役立てていきたいと考えています。

**・今後留学を考えている人へのアドバイス、心構えとして伝えたいこと。**

留学は自分自身の決意、行動によって本当に状況が変わってきます。自分の留学の目的は何なのかを明確にし、それが叶うような行動を毎日していただきたいと思います。

また留学には大変なこともあります。語学面、コミュニケーション能力の向上、行動力がつくなど、得られるものは非常にたくさんあります。留学しようかどうか迷われている方、ぜひ一度チャレンジしてみてください！

**2016年3月更新**

**・専攻している科目の学習状況について**

今私はヘストン大学でビジネスを専攻しています。今は春学期が始まって1ヶ月が経とうとしているところなのですが、このセメスターではマネジメント会計、マネジメント、アカウ

ンティングソフトウェア、産業革命からグローバル化へといったビジネスのクラスと一般教養のクラスを2つ履修しています。私がこのヘストン大学で受けているビジネスのクラスは後の3年次、4年次に向けてのビジネスの基礎クラスがほとんどです。来年からは別の大学の3年次に編入をし、分野をしぼって、より深く詳しいことを学んでいきます。私は現在ビジネス専攻ですが、アカウンティングに的を絞り、来年からはアカウンティング系のクラスばかりを履修することになります。ビジネスにはその他にもマネジメント、マーケティングといった専攻があります。クラスでは発言を求められることが非常に多く、自ら意見を持って発言をしていかないといけません。教科書にのっているような当たり前のことではなく、教科書、クラスを越えて実際の社会との関連づけをしていく思考が非常に大事にされています。ビジネスの先生には暗記ではなく授業で得た知識をどう実際の社会の中、もしくは自分の仕事のなかに活かしていくかに重きを置く先生が非常に多いです。あるクラスで、「私は答えや定義を暗記できるかどうかなんて気にしていない。大事なのは学んだ事を与えられたシチュエーションでどう使うかだ。このクラスの中にはそのように教育された人もいると思うが。」と先生が言ったのですが、最後の言葉は完全に日本人の生徒に対して述べた皮肉でした。このようにアウトプットを非常に大事にしているクラスがこの学校には多いです。

**・ボランティアやアルバイトなど、どのような学業以外の活動をしていますか。**

私はRAと呼ばれる Residence Assistant と女子サッカー一部のマネージャーをしています。RAはModと呼ばれる寮内での区を取り仕切る仕事です。ゴミ出し、掃除と言った雑用からアクティビティーの計画、実行と言った多岐に渡った仕事があります。RAはキャンパス内や寮内での模範生徒として見られる仕事でもあり自分の行動に責任を持ち、他の生徒のキャンパスライフを支えていく役割があり時間もとられるので大変ではありますが、アクティビティーが無事に終わった時などは達成感もありやりがいのある仕事です。私のmodはみんなの誕生日を一緒にお祝いしたりすべての部屋のルームメイトが親友同士であったり、とても仲のいいmodです。また、今はシーズンオフなのでマネージャーの仕事は忙しくはありませんが、シーズン中は週3で試合があったり15時間かけて遠征に行ったりと体力的にも時間的にもすごく大変でしたが今年はホーム戦15戦負け無しと最多勝利数をあげることができ、とても充実した良いシーズンとなりました。

**・三重県や日本の文化や習慣等について紹介する機会がありますか。**

10月の終わりに学校でカルチャーフェアがあり、留学生がブースでそれぞれの文化を紹介するのですが、私たち日本人は唐揚げと焼きそばを作ってアメリカ人の生徒や先生、他の国の留学生、地域の方に振る舞いました。また、去年のカルチャーフェアでは自分で浴衣の着付けができず情けない思いをしたので夏に日本に帰った時に着付け教室に通いました。日本人の女の子6人の浴衣の着付けをしました。6人はさすがに疲れましたが、そのフェアで浴衣を通して日本の文化を伝える事ができてよかったです。また来月にはmodのアクティビティーで手巻き寿司の作り方をmodのメンバーに教える予定です。また、mod meetingというmodのメンバーに学校からの連絡を伝えたりする会議が月に1、2回程あるのですが、その時にいつも私は日本から送ってもらったお菓子をみんなに配っ

ています。アメリカ人はお菓子(特にチョコ系)が大好きなのでみんな喜んでくれています。文化を伝える場というのは正直に言うとそうそう多い物ではありません。それに留学先の生徒が他の文化に必ずしも興味があるとは限りません。そういった状況では自らがチャンスを作り積極的に行動していくことが大事だと私は思っています。

**・あなたの留学の目的は何ですか。**

私がアメリカに留学している理由は大きく3つあります。世界一位の経済大国であり経済の面で世界をリードするアメリカで学んでみたいというのが一番の理由です。2つ目の理由は英語力向上のためです。アメリカで英語を学ぶことでより実用的でビジネスの場でも通用する英語を身につけることができると考えました。3つ目の理由としてはアメリカの大学院で MBA という経営学修士を取得するためです。

**・専攻している(する予定の)科目の学習内容について書いてください。**

私は現在ビジネスを専攻しています。1年生のときにはマクロ経済学、ミクロ経済、ビジネス探求というクラスを、2年生の現在は財務会計、マネジメント会計、産業から国際化へというクラスを受講しています。マクロ経済、ミクロ経済では経済の仕組み、経済、人々の消費行動の基本について学び、ビジネス探求では会計から企業についてまで幅広くビジネスの基本について学びました。また現在受講している財務会計の授業では米国式の会計学を学んでいます。アメリカ側の視点から日本の経済を見たり、世界経済の中での日本というのを客観的にみることができ、時にはアメリカや欧米諸国と比較されて悔しい思いをするときもありますが、客観的に日本をすることでより日本経済を知る事ができたような気がします。

**・留学大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。**

アメリカの大学に願書を出す際は、英語力を証明する物(英検、TOEFL 等)、高校の成績証明書、エッセイが必要でした。しかし、必要な書類等は学校によってそれぞれ異なります。また、ビザを取得する際は学校から送られてくる入学許可証以外に授業料を払う事ができるかどうかを確認するために十分な残高のある銀行口座の残高証明書が必要でした。

**・留学校を決めるにあたって利用した資料や機関はありますか。**

私は成功する留学という留学斡旋会社を利用しました。十分な英語力があり、大学へのアプライやビザの取得も経験があるという場合は自分で手続きをするのもひとつの方法だと思いますが、やはりこういった会社はより専門的で豊富な知識を持っていますので手続きや学校探しの際にこういった機関を利用するのは決して損ではないと思います。ただし、斡旋会社に流されてしまわないためにも留学の目的、行きたい学校、住みたい所等には明確なビジョンを持つ必要があると思います。また自分に合った斡旋機関を見つけるためにより多くの留学フェアや説明会に行かれるといいと思います。

**・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。**

現在通っているヘストンカレッジという学校はカンザス州というとても静かな所にある小さな学校で、メノナイトというキリスト教の一派の学校で、全校生徒は 400～500 人程の小規模な学校です。またヘストンカレッジはタイムズ紙で2年制のカレッジ全米2位に選ばれたことのある学校で、そういった環境に身を置けば、勉強に専念できると思い、この学校を選びました。実際、誘惑がほとんどなく毎日大量に出される課題を必死にこなしている日々を送っています。また、とても安全な地域であり、寮があるというのも大きな理由でした。

**・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。**

昨年度はカルチャーフェアという学校で行われた文化交流のイベントで日本人の友人と日本食を学校の生徒、地域の方々に振る舞いました。またボランティアとしては近くにある老人ホームに伺い、お手伝いをさせていただきともに楽しい時間を過ごす事ができました。また、寮の友人に手巻き寿司の作り方を披露し、みんなで手巻き寿司を作りました。